

2023年3月31日
昭和電線ホールディングス株式会社
大和ハウス工業株式会社
芙蓉総合リース株式会社

昭和電線ケーブルシステム株式会社 相模原事業所敷地 における複合施設建設計画について

昭和電線ホールディングス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:長谷川隆代)、昭和電線ケーブルシステム株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:川瀬 幸雄、以下、CS 社)、大和ハウス工業株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:芳井 敬一、以下、大和ハウス工業)および芙蓉総合リース株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:織田 寛明、以下、芙蓉リース)は、本日 CS 社の相模原事業所敷地の一部に複合施設を建設することの計画(南橋本4丁目プロジェクト)について合意しましたので、お知らせします。

1. 計画の概要

本計画は、大和ハウス工業が提案・統括者となって進めてまいります。

本計画では、CS 社が相模原事業所敷地(115,000 m²)の内の南側道路に面した区画約33,000 m²について芙蓉リースに借地権を設定し、芙蓉リースが施主となって複合施設を建設します。

複合施設は、高さ約36m、地上5階建てで、建築面積約18,000 m²、延べ床面積約80,000 m²の設計を予定しており、主には物流倉庫として、一部は昭和電線グループも入居するインキュベーションセンターを置くことで検討を進めております。また、託児所など、相模原事業所従業員や地域の方にもご利用いただけるテナントの入居についても検討しています。

なお、複合施設の建設予定地は、現在、CS 社の製造棟とグラウンドとして使用しており、本計画は、昭和電線グループが製造拠点・製造ラインの効率化・集約を進める中で、当該製造棟建屋を解体・撤去した跡地を有効活用することを目的としております。



複合施設のイメージ図

2. 今後の予定

建設予定地の引き渡しは 2024 年 1 月を予定しており、それまでに当事者間で詳細な条件等を検討、協議してまいります。

その後、製造棟建屋の解体・撤去を行った上で着工し、複合施設が竣工するのは、2026 年 7 月を予定しております。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室(担当)木村・山崎

TEL:03(5275)8891 URL:<https://www.fgl.co.jp/>